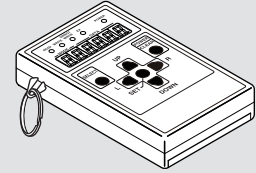


AnyWire Address Writer

ARW-04



赤外線非接触型

リモートヘッド装着対応

このProduct Guideは個別製品について記載しています。内容をお読みの上ご理解ください。

■初めてご使用になる場合

【内部設定】の内容(P6~8)をご確認ください。

【安全上のご注意】

安全にお使いいただくため、次のような記号と表示で注意事項を示していますので必ず守ってください。



警告

この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です。



警告

○システム安全性の考慮

本システムは、一般産業用であり安全確保を目的とする機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。

○設置や交換作業の前には必ずシステムの電源を切ってください。

○ダイレクトモードでの設定変更は、書き込んだ時点で変更値に更新されます。アドレス変更などでは思わぬ動作につながる可能性がありますので安全に十分配慮の上ご使用ください。



注意

○システム電源

DC24V安定化電源を使ってください。安定化電源でない電源の使用はシステムの誤作動の原因となります。

○高圧線、動力線との分離

AnyWire システムは高いノイズマージンを有していますが、伝送ラインや入出力ケーブルと高圧線や動力線とは離してください。

○コネクタ接続、端子接続

・コネクタ、接続ケーブルに負荷が掛かたり外れたりしないよう、ケーブル長さ、ケーブル固定方法などに配慮してください。

・コネクタ内部、また端子台には金属くずなどが混入しないよう注意してください。

・金属くずによる短絡、誤配線は機器に損傷を与えます。

○機器に外部からのストレスが加わる様な設置は避けてください。故障の原因となります。

○伝送ラインが動作している時に、伝送ラインとスレーブユニットの接続を切断したり再接続したりしないでください。誤作動の原因となります。

○AnyWire システムは下記事項に定められた仕様や条件の範囲内で使用してください。

【特長】

- AnyWire システムのユニットで、設定ポートを持つユニットのアドレス番号や動作仕様の設定に使用します。このライターによって非接触でアドレス番号、パラメータを設定する事が可能です。
- 読み出し、書き込み、ができます。
- 本体は小型で電池駆動のため、電源コードが無くどこにでも携帯可能です。
- アドレス番号は7セグ表示器で表示され、直接十進数で扱えるので暗い場所でスイッチが見づらいため、設定値を計算しなければならないといった不便が無くなります。
- 別売で、狭小箇所や小型ユニットに対する書き込みがし易くなるリモートヘッド (ARW-RH) が用意されています。
- 電源を切り忘れても電池を保護する、自動シャットアウト機能付です。(設定途中の状態は、設定前内容に戻ります)

【保証について】

■保証期間

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1箇年とします。

■保証範囲

上記保証期間中に、本取扱説明書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。
- 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- 納入者以外の改造、または修理による場合。
- その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

■有償修理

保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。

【型 式】

ARW-04	赤外線非接触型アドレスライター
ARW-RH	狭小部用リモートヘッド (別売)

ARW-04とARW-RHのセット品もあります。

型式: ARW-04-RH

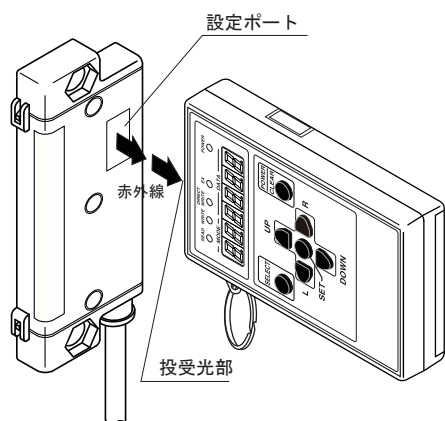
【概要】

ARW-04は赤外線を使い、ターミナルに書き込まれているアドレス番号を読み出したり、ターミナルにアドレス番号を書き込む事が可能です。

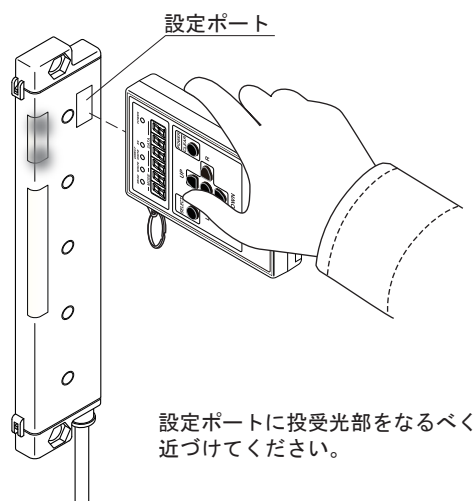
赤外線投受光部は、外乱光の影響を受けにくくしており室内の殆どの場所で使えます。

また、拡散型投受光方式により、投受光部をユニットの設定ポートに向け操作することで送受信できます。

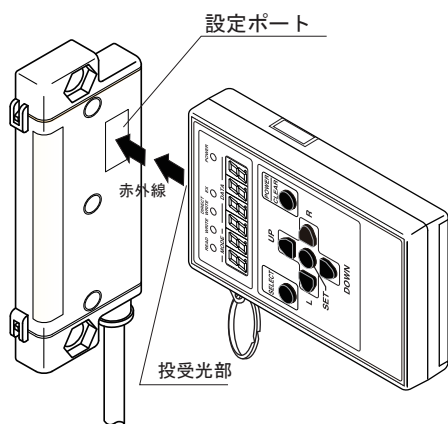
■アドレス番号の読み出しのイメージ



■操作のイメージ

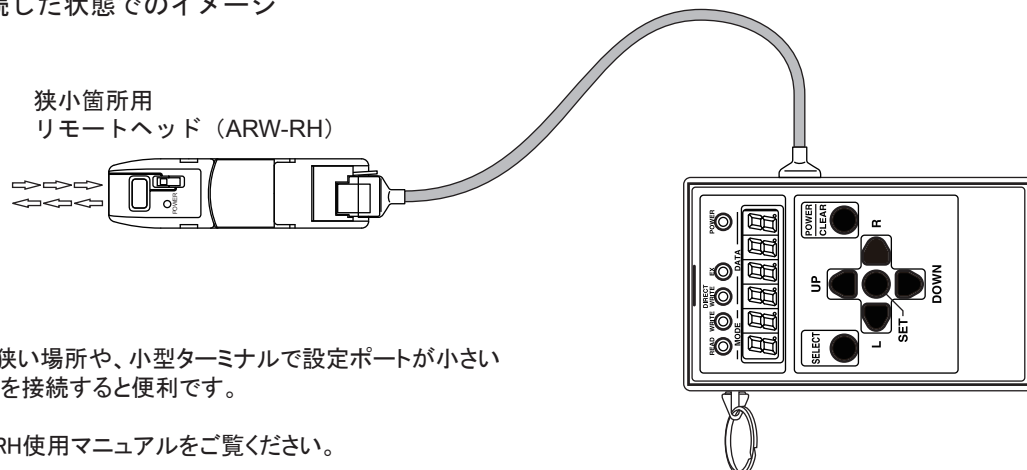


■アドレス番号の書き込みのイメージ



注意 ARW-04の投受光部、及び設定するユニットの設定ポートに直射日光等の強い外乱光が当たっていると、書き込みや読み出しができない場合があります。そのような場合は、手などで遮蔽していただきますようお願いいたします。

■リモートヘッドを接続した状態でのイメージ



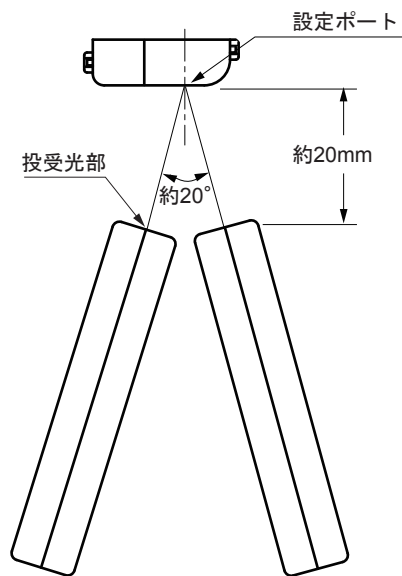
ARW-04本体を近づけにくい狭い場所や、小型ターミナルで設定ポートが小さい場合などには、リモートヘッドを接続すると便利です。

ARW-RHについては、ARW-RH使用マニュアルをご覧ください。

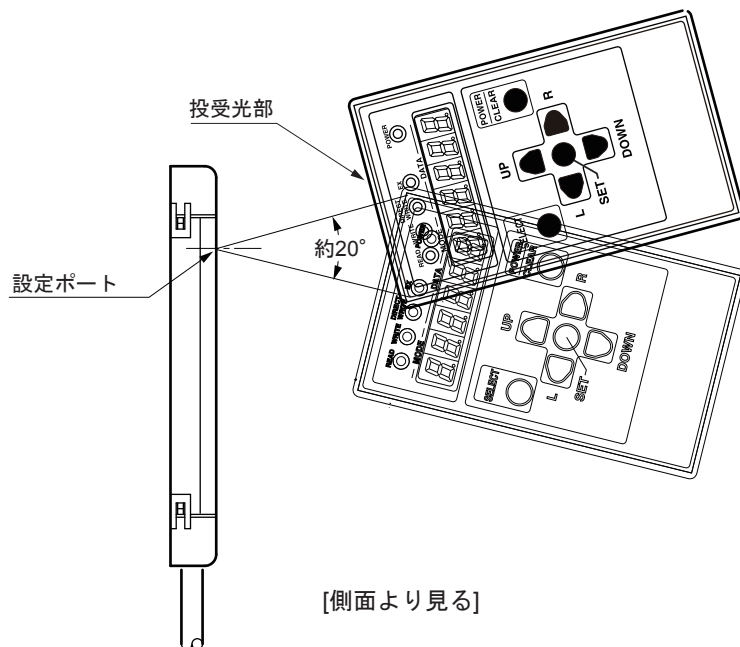
【操作範囲】

対象ユニットの設定ポートに、投受光部をできるだけ近づけて操作します。
なお、投受光可能範囲についての目安は下記の通りです。

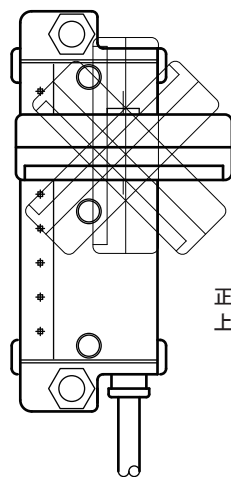
■アドレス番号の読み出し、書き込み時の姿勢目安



[上面より見る]



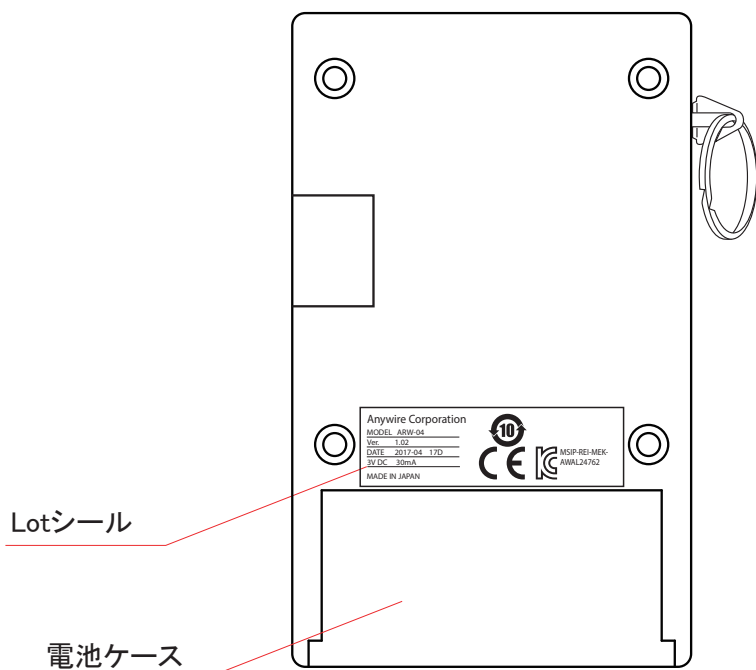
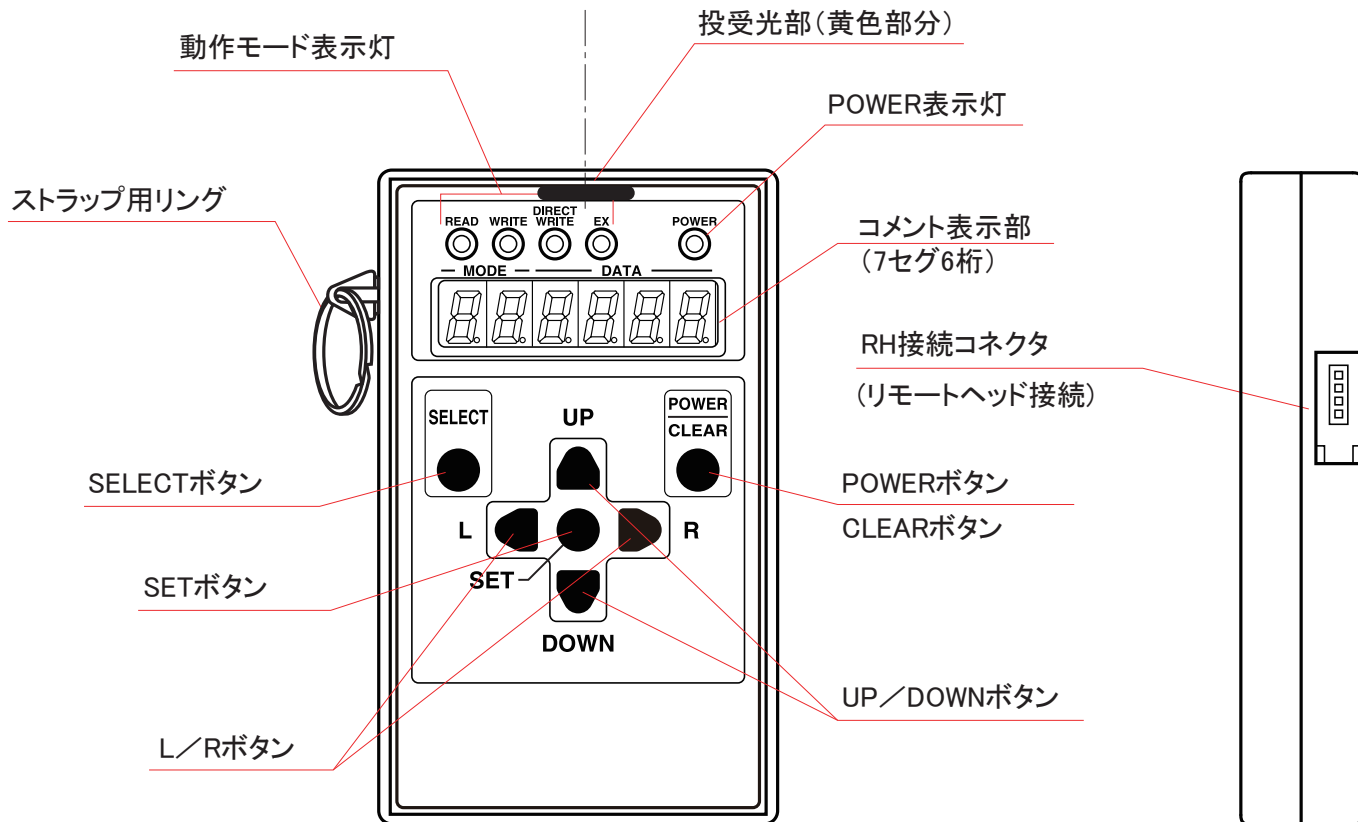
[側面より見る]



[正面]

正面に対するARW-04の
上下方向指定はありません

【各部の名称】



ARW-04の操作には下記の項目があります。

項目	機能説明	設定値更新 タイミング	選択するモード	説明ページ
内部設定	アドレスライタの 内部設定を行います	電源リセット時	最大点数設定モード (出荷時:512)	6.7.8
			最大パラメータ数設定 モード (出荷時:18※)	
			10進数または16進数 表示設定モード (出荷時:10進数)	
			パラメータ設定値の自動 桁上がり有無設定モード (出荷時:桁上がりなし)	
			アドレスライターモード (出荷時:ARW-04)	
ティーチング	ASLINKSENSORや ASLINKAMPの調整を行ないます	操作直後	EXモード	9
読み出し	アドレス番号や パラメータの読み出しを行ないます	—	READ モード	10.18
書き込み	アドレス番号や パラメータの書き込みを行ないます	電源リセット時	WRITE モード	12.19
直接書き込み	アドレス番号や パラメータの書き込みを行ないます	操作直後	DIRECT WRITEモード	13.20

※ LotシールのDATEが2017-4 17D以前の出荷時設定は0

アドレスライターを初めてご使用になる時は、まず次項「内部設定」をご確認いただき、内部設定を済ませてから各種設定作業を行なってください。



DATE2017-5 17E以降の出荷時最大パラメータ数は「18」になっていますので、出荷時状態で直ぐにパラメータの読み書きが可能です。ただし、不要なパラメータ書き込み防止のため、各製品の取扱説明書をご確認の上、最大パラメータ数の設定を行ってください。

DATE2017-4 17D以前の出荷時最大パラメータ数は「0」になっていますので、パラメータの読み書きには設定が必要です。

最大点数設定についても、出荷時状態(512点)でそのまま使用可能ですが、誤ったアドレス番号の書き込みを防止するためアドレスライタの内部設定を書き込み対象機器に適合させてください。

(例: AnyWireASLINKシステムの場合、最大点数設定は256点)

【内部設定】

アドレスライターご使用の前に、設定する対象製品のシリーズやパラメータ数などを確認し、アドレスライターの内部設定を適合させてください。

■確認する内容

確認する内容は、「最大点数設定モード」「最大パラメータ数設定モード」「10進数または16進数表示設定モード」「パラメータ設定値の自動桁上がり有無設定モード」「アドレスライターモード」です。

出荷時	設定項目	設定値	内容
A88502	最大点数設定モード (出荷時:512)	A88256	アドレス番号上限255
		A88502	アドレス番号上限511
P00000	最大パラメータ数設定モード (出荷時:18*)	P00000 ~ P00009	パラメータモード時に扱えるパラメータ数 (例)P00004 パラメータ04に設定した場合、 パラメータモード時01~04の4種類が選択可能)
000000	10進数または16進数 表示設定モード (出荷時:10進数)	000000	10進数表記
		00000H	16進数表記
P00000	パラメータ設定値の 自動桁上がり有無設定モード (出荷時:桁上がりなし)	P00005	パラメータ設定値の変更時に自動桁上げる
		P00000	パラメータ設定値の変更時に自動桁上げしない
A00000	アドレスライターモード (出荷時:ARW-04)	A00004	ARW-04
		A00003	ARW-03(旧アドレスライターモードです。4桁の数値は扱えません。 10進数、自動桁上がりあり、で動作します。)

※ LotシールのDATEが2017-4 17D以前の出荷時設定は0

●最大点数設定モード

誤ったアドレス番号の書き込み防止のため、
お使いになるエニワイヤのシリーズに応じて設定してください。

	最大点数設定	
	256点	512点
設定できるアドレス番号	0~255	0~511



出荷時設定(512点)で、どのシリーズのアドレス設定も可能ですが
AnyWireASLINK、Bittyシリーズの場合、256以上のアドレス番号の書き込みによって予期せぬ動作に繋がる可能性があります。
誤ったアドレス番号の書き込みを防止するために、書き込み対象システムと内部設定を合わせてご使用ください。
AnyWireASLINK、Bittyシリーズ の最大制御点数:入力256点/出力256点 (AnyWire DB A20シリーズは入力512点/出力512点)

●最大パラメータ数設定モード

設定できるパラメータの数は、製品によって異なります。
不必要なパラメータの書き込みによる誤動作を防ぐため、製品に応じて設定してください。



DATE2017-5 17E以降の出荷時最大パラメータ数は「18」になっていますので、出荷時状態で直ぐにパラメータの読み書きが可能ですが、不必要なパラメータ書き込み防止のため、各製品に合せた最大パラメータ数の設定を行ってください。
DATE2017-4 17D以前の出荷時最大パラメータ数は「0」になっていますので、内部設定を行うまでパラメータの読み書きはできません。

■設定操作

		操作方法	表示	表示内容	設定音
最大点数設定モード	1	SELECTボタンを押しながら POWERボタンをONする	AA0256 または AA0502	現在の最大点数設定モード	ピピピ
	2	SETボタンを押す	AA0256 または AA0502	ドット点減右に移動	ピ
	3	UP/DOWNボタンで設定したい 数を表示させ、SETを押す (Rボタンで AA0256 になる)	0005EE ----- AA0256 例)	SET表示後、設定値に変わる 最大点数を256点に設定した場合	ピピー
	4	LボタンまたはCLEARボタンを押す	AA0256 または AA0502	ドット点減左に移動	ピ
最大パラメータ数設定モード	5	UPボタンを1回押し、 設定するパラメータ数を設定する	PA0000 ~ PA0009	現在の最大パラメータ選択数	
	6	SETボタンを押す	PA0000 ~ PA0009	ドット点減右に移動	ピ
	7	UP/DOWNボタンで設定したい 数を表示させ、SETを押す※ (Rボタンで PA0000 になる)	0005EE ----- PA0000 例)	SET表示後、設定値に変わる パラメータ数を10に設定した場合	ピピー
	8	LボタンまたはCLEARボタンを押す	PA0000 ~ PA0009	ドット点減左に移動	ピ
表示設定モード	9	UPボタンを1回押し、 7セグ表示方法を設定する	000000 または 0000EH	現在の7セグ表示方法	
	10	SETボタンを押す	000000 または 0000EH	ドット点減右に移動	ピ
	11	UP/DOWNボタンで設定したい 数を表示させ、SETを押す (Rボタンで 000000 になる)	0005EE ----- 0000EH 例)	SET表示後、設定値に変わる 16進数表示に設定した場合	ピピー
	12	LボタンまたはCLEARボタンを押す	000000 または 0000EH	ドット点減左に移動	ピ
パラメータの 自動桁上がり有無設定モード	13	UPボタンを1回押し、パラメータの 自動桁上がりモードの有無を設定する	PA0905 または PA0000	現在のパラメータの 自動桁上がりの有無	
	14	SETボタンを押す	PA0905 または PA0000	ドット点減右に移動	ピ
	15	UP/DOWNボタンで設定したい 数を表示させ、SETを押す (Rボタンで PA0000 になる)	0005EE ----- PA0000 例)	SET表示後、設定値に変わる 自動桁上がり無しに設定した場合	ピピー
	16	LボタンまたはCLEARボタンを押す	PA0905 または PA0000	ドット点減左に移動	ピ

		操作方法	表 示	表示内容	設定音
アドレスライターモード	17	UPボタンを1回押し、 アドレスライターモードを設定する	000000 または 000000	現在のアドレスライターモード	
	18	SETボタンを押す	000000 または 000000	ドット点滅右に移動	ピ
	19	UP/DOWNボタンで設定したい 数を表示させ、SETを押す (Rボタンで 000000になる)	000500	SET表示後、設定値に変わる	ピピー
			000000 (例)	ARW-04モードに設定した場合	
20	POWERボタンを長押しで、 OFFする				

ASLINKAMP、ASLINKSENSORを使用する際に必要な、「ティーチング(使用前にワークの有り無し状態を記憶させる)」操作を行うモードです。

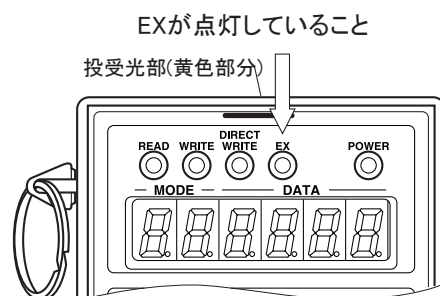


注意 ティーチング設定の必要の有無は製品によって異なります。詳しくは各種製品説明書をご確認ください。

■設定操作

	操作方法	表示	表示内容	設定音
1	POWERボタンを長押し	048800	バージョン表示後	ピピ
		SELECE	SELECE点滅表示	
2	SELECTボタンを押す	888888	-----点滅表示	ピ
3	SELECTボタンを数回押し EX表示を点灯	EX(赤)		ピ
4	SETボタンを押す	SE8888	SEt on モード	ピ
5	該当ユニットがワークを検出する状態にした後、投受光部と設定ポートを合わせてSETボタンを押す	SE8888	設定中	ピ
6	SEton設定 が正しく行われるとGoodの表示が出た後、SEton表示に戻る	8G8888	正常に完了	ピ-
		SE8888	設定完了	
7	設定に失敗した場合はSE Errが表示されるので、投受光部を合わせ直し6項の状態になるまで、再度SETボタンを押す	SE8ERR	Err表示	ピピピ ピピ
8	SEtonが完了後UPまたはDOWNボタンを1回押す	SE8888	SEt off モード	
9	該当ユニットにワークが無い状態で、投受光部と設定ポートを合わせてSETボタンを押す	SE8888	設定中	ピ
10	SEtoFF設定 が正しく行われるとGoodの表示が出た後、SEtoFF表示に戻る	8G8888	正常に完了	ピ-
		SE8888	設定完了	
11	設定に失敗した場合はSE Errが表示されるので、投受光部を合わせ直し10項の状態になるまで、再度SETボタンを押す	SE8ERR	Err表示	
12	・Err表示を消す ・他のモードに切り換える CLEARボタンを押す			
13	次の設定に移行する場合は、SELECTボタンを押す	READ(緑) WRITE(黄) DIRECT WRITE(橙) EX(赤)		

ARW-04使用後は、POWERボタンを長押しし、電源をOFFしてください。



ユニットに書き込まれているアドレス番号を読み出すモードです。

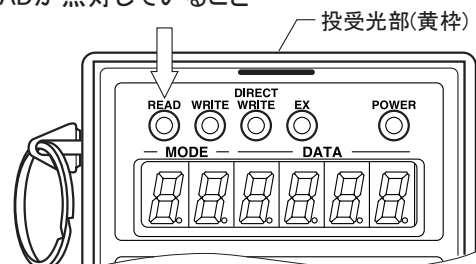
対象ユニットに電源(2線式タイプの場合は伝送信号)が供給されている事を確認してください。

■アドレスの読み出し操作

	操作方法	表示	表示内容	設定音
1	POWERボタンを長押し	098000	バージョン表示後	ピピ
		SEEEEE	SELEct点滅表示	
2	SELECTボタンを押す	000000	-----点滅表示	ピ
3	SELECTボタンを数回押し READ表示を点灯	READ(緑)		ピ
4	SETボタンを押す	Ad0000	READモード確定	ピ
5	対象ユニットの設定ポートに投受光部 を合せてSETボタンを押す	Ad0000	読み出し中	ピ
6	読み出しに成功した場合	Ad0050 例)	アドレス番号を表示 読み出したアドレス番号 が150の場合	ピー
7	引き続き、別のユニットのアドレスの 読み出し操作(5項)を行うことができ ます			
8	読み出しに失敗した場合	Ad0000	Err表示	ピピピ ピピ
9	投受光部を合わせ直し、再度 SETボタンによる読み出し操作(5項) を繰り返す			
10	・Err表示を消す ・他のモードに切り換える	Ad0050 例)	READモード表示に 戻る	
	CLEARボタンを押す			
11	次の設定に移行する場合 SELECTボタンを押して 希望モードの表示を点灯	READ(緑) WRITE(黄) DIRECT WRITE(橙) EX(赤)		ピ

ARW-04使用後は、POWERボタンを長押しし、電源をOFFしてください。

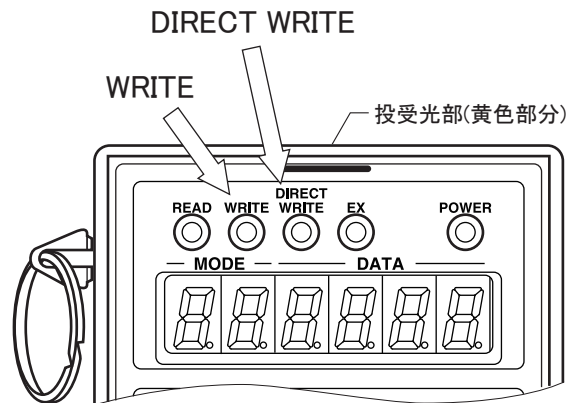
READが点灯していること



【アドレス番号の書き込み】

書き込みモードには、次の2種類があります。

モード	内容
WRITE	書き込んだ後、ターミナルの電源、伝送信号を一旦切って再投入すると、書き込み値が有効となります。
DIRECT WRITE	書き込むと同時に書き込み値が有効となります。 * 電源を落とさず変更が可能のため手軽な方法ですが 思わぬターミナル動作によって事故の無いよう 操作には注意が必要です。



【アドレス番号の書き込み・・・WRITEモード】

書き込み値が、電源再投入によって有効となるモードです。

操作時は、対象ユニットに電源(2線式タイプの場合は伝送信号)が供給されている事を確認してください。また全て書き込んだ後は、安全を確認の上、対象ユニットの電源(2線式タイプの場合は伝送信号)をリセットし、書き込み値を更新してください。

■アドレス番号の書き込み操作

	操作方法	表示	表示内容	設定音
1	POWERボタンを長押し	048800	バージョン表示後	ピピ
		SELECE	SELECE点滅表示	
2	SELECTボタンを押す	888888	点滅表示	ピ
3	SELECTボタンを数回押し WRITE表示を点灯	WRITE(黄)		ピ
4	SETボタンを押す	Ad8880	WRITEモード確定	ピ
5	SETボタンを押す	Ad8880	ドット点滅右に移動	ピ
6	UP/DOWNボタンで書き込みたい アドレス番号を表示 設定値が0の場合、Rボタンを操作すると+50づつ 加算され、初期設定により255又は511を超えて 加算すると0に戻る 設定値が0以外の場合、Rボタンを押すと0になる	Ad8880 (例)	アドレス番号150に 設定する場合	
7	対象ユニットの設定ポートに投受光部を 合わせてSETボタンを押す	Ad8880	書き込み中	ピ
8	書き込みに成功した場合	888888	Good点滅後	ピ-
		Ad8880 (例)	書き込んだアドレス番号の例	
9	引き続き、別のユニットのアドレス番号の 書き込み操作(6・7項)を行うことが できます			
10	書き込みに失敗した場合	Ad8880	Err表示	ピピピ ピピ
11	投受光部を合わせ直し、再度SETボタン による書き込み操作(7項)を繰り返す			
12	・Err表示を消す ・他のモードに切り換える CLEARボタンを押す	Ad8880 (例)	WRITEモード表示に 戻る	ピ
13	CLEARボタンを押す	Ad8880 (例)	ドット点滅左に移動	ピ
14	次の設定に移行する場合 SELECTボタンを押して 希望モードの表示を点灯	READ(緑) WRITE(黄) DIRECT WRITE(橙) EX(赤)		ピ

ARW-04使用後は、POWERボタンを長押しし、電源をOFFしてください。

書き込むと同時に、書き込み値が有効となるモードです。

操作時は、対象ユニットに電源(2線式タイプの場合は伝送信号)が供給されている事を確認してください。DIRECT WRITEモードは、書き込んだ時点で更新されます。

アドレス番号対応が変化し思わぬ動きなどが発生する可能性もありますので、安全に注意して操作してください。

■アドレス番号の書き込み操作

	操作方法	表示	表示内容	設定音
1	POWERボタンを長押し	048800	バージョン表示後	ピピ
		SELECT	SELECT点滅表示	
2	SELECTボタンを押す	888888	点滅表示	ピ
3	SELECTボタンを数回押し WRITE表示を点灯	DIRECT WRITE(橙)		ピ
4	SETボタンを押す	888880	DIRECT WRITEモード確定	ピ
5	SETボタンを押す	888880	ドット点滅右に移動	ピ
6	UP/DOWNボタンで書き込みたい アドレス番号を表示 設定値が0の場合、Rボタンを操作すると+50づつ 加算され、初期設定により255又は511を超えて 加算すると0に戻る 設定値が0以外の場合、Rボタンを押すと0になる	888850 (例)	アドレス番号150に 設定する場合	
7	対象ユニットの設定ポートに投受光部を 合わせてSETボタンを押す	888888	書き込み中	ピ
8	書き込みに成功した場合	888888	Good点滅後	ピ-
		888850 (例)	書き込んだ値の例	
9	引き続き、別のユニットのアドレスの 書き込み操作(6・7項)を行うことが できます			ピ
10	書き込みに失敗した場合	888Err	Err表示	ピピピ ピピ
11	投受光部を合わせ直し、再度SETボタン による書き込み操作(7項)を繰り返す			
12	・Err表示を消す ・他のモードに切り換える CLEARボタンを押す	888855 (例)	DIRECT WRITEモード 表示に戻る	ピ
13	CLEARボタンを押す	888880	ドット点滅左に移動	ピ
14	次の設定に移行する場合 SELECTボタンを押して 希望モードの表示を点灯	READ(緑) WRITE(黄) DIRECT WRITE(橙) EX(赤)		ピ

ARW-04使用後は、POWERボタンを長押しし、電源をOFFしてください。

【パラメータについて】

パラメータは、ユニットに内蔵されている動作要素番号です。

パラメータを持つユニットに対し、ARW-04で動作仕様を設定します。

パラメータ詳細については、併せて各ユニットの製品説明書をご覧ください。

⚠ 注意

下記のパラメータや変数値を超えた値では操作しないでください。適切に機能しなくなる場合があります。
パラメータ、変数オーバーで設定しようとするするとARW-04の表示部に「E-303」が表示されます。

■ 代表機種のパラメータ

種 別	型 式	パラメータ		
		番号	変数 と 内容	
扉型ポカよけ	A027XB-F02G□-P A227XB-F02G□-P	01	1.2.3.4.5.6.7	扉の上位置
		02	1.2.3.4.5.6.7	扉の下位置
		03	1.2.3.4.5.6.7.8.9.10	タイマ
小型ポカよけ	A027XB-K02VN-P A027XB-K02V-P A227XB-K02VN-P A227XB-K02V-P	01	0(緑).1(赤).2(青).3(黄).4(空).5(紫).6(白)	表示色
ASLINKポカよけ	BL227XB-K72V□-P BL227XB-K72M□-P BL227XB-K71V□-P BL227XB-K71M□-P BL227XB-K06M□-P BL227XB-K02V□-P	01	0(緑).1(赤).2(青).3(黄).4(空).5(紫).6(白)	表示色
		02	0(表示なし/ブランク).1(表示あり) 2(-/ハイフン).3(-1/マイナス1)	7セグ「F」の表示方法
		03	80(表示なし/ブランク).81(表示あり) 82(-/ハイフン).83(-1/マイナス1)	7セグ「A」の表示方法

■代表機種のパラメータ

種 別	型 式	パラメータ			
		番号	変数 と 内容		
ASLINKER	B280SB-02U□-C1220 B280PB-02U□-C1220	01	0 (I/O断線、24VL短絡検出: OFF) 1 (I/O断線、24VL短絡検出: ON) 出荷時: 0	機能選択	
	B281□B-02U□-CC20	01	0 (I/O断線、24VL短絡検出: OFF) 1 (I/O断線、24VL短絡検出: ON) 出荷時: 0	機能選択	
ASLINKAMP	B289SB-01AF-CAM20-V B289SB-01AF-CAS-V B289SB-01AP-CAM20 B289SB-01AP-CAS	01	センサ感度(しきい値)設定 調整レンジ: 0~100 出荷時: 50	機能選択	
		02	センサ感度に対するヒステリシス設定 調整レンジ: 0~100 出荷時: 5	機能選択	
		03	アラーム判定値上限設定 調整レンジ: 0~100 出荷時: 80	機能選択	
		04	アラーム判定値下限設定 調整レンジ: 0~100 出荷時: 20	機能選択	
		05	アラーム判定値における監視時間設定 調整レンジ: 3~255 出荷時: 50(単位0.1秒)	機能選択	
		06	ダークON/ライトON切り替え 出荷時: 0		機能選択
			透過型	0:ダーク(遮蔽)ON 1:ライト(透過)ON	
		06	反射型	2:ダーク(反射なし)ON 3:ライト(反射あり)ON	
07	動作モード設定 出荷時: 0 0 (診断機能: OFF) 1 (診断機能: ON) ※ASLINKAMP側表示連動		機能選択		
08	光電ヘッド対応用内部設定 変数: 0~3 出荷時: 0 ※この値は、出荷時設定でご使用ください。 変更する場合は、弊社営業までご相談ください。	機能選択			

■代表機種のパラメータ

種 別	型 式	パラメータ		
		番号	変数 と 内容	
AnyWireASLINK マッピングターミナル	B232SB-MX100-STP B232SB-SX100-STP	01	0.1.3.4.5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15 出荷時：10	感度
		02	0(一括感度設定).1(個別感度設定) 出荷時：0	B232SB-SX100-STPの 感度設定モード
		03	0(エラーコーム監視機能あり) 1(エラーコーム監視機能なし) 出荷時：0	エラーコーム 監視機能
ASLINKSENSOR	B283SB-01-1KC	01	センサ感度(しきい値)設定 調整レンジ：0～100 出荷時：50	機能選択
		02	センサ感度に対するヒステリシス設定 調整レンジ：0～100 出荷時：5	機能選択
		03	アラーム判定値上限設定 調整レンジ：0～100 出荷時：80	機能選択
		04	アラーム判定値下限設定 調整レンジ：0～100 出荷時：20	機能選択
		05	アラーム判定値における監視時間設定 調整レンジ：3～255 出荷時：50(単位0.1秒)	機能選択
		06	ダークON/ライトON切り替え 出荷時：0 0:ダーク(遮蔽)ON 1:ライト(透過)ON	機能選択
		07	動作モード設定 出荷時：0 0(診断機能：OFF) 1(診断機能：ON) ※ASLINKSENSOR側表示連動	機能選択
		08	受光モード設定 出荷時：1 0(ノーマルモード) 1(ファインモード)	機能選択
	B283SB-01-1KP	09	投光モード設定 出荷時：0 0(ノーマルモード) 1(パワーモード)	機能選択

■代表機種のパラメータ

種 別	型 式	パラメータ		
		番号	変数 と 内容	
ASLINKSENSOR	B283SB-01-1KR-V B283SB-01-1KS	01	センサ感度(しきい値)設定 調整レンジ: 0~100 出荷時: 50	機能選択
		02	センサ感度に対するヒステリシス設定 調整レンジ: 0~100 出荷時: 5	機能選択
		03	アラーム判定値上限設定 調整レンジ: 0~100 出荷時: 80	機能選択
		04	アラーム判定値下限設定 調整レンジ: 0~100 出荷時: 20	機能選択
		05	アラーム判定値における監視時間設定 調整レンジ: 3~255 出荷時: 50(単位0.1秒)	機能選択
		06	ダークON/ライトON切り替え 0:ダーク(反射なし)ON 出荷時 1:ライト(反射あり)ON 0:B283SB-01-1KR-V 1:B283SB-01-1KS	機能選択
		07	動作モード設定 出荷時: 0 0(診断機能: OFF) 1(診断機能: ON) ※ASLINKSENSOR側表示連動	機能選択
		08	受光モード設定 出荷時: 1 0(ノーマルモード) 1(ファインモード)	機能選択
		09	投光モード設定 出荷時: 1 0(ノーマルモード) 1(パワーモード)	機能選択
BS-K1117-M□□-1K BS-K1117S-M□□-1K		01	センサ感度(しきい値)設定 調整レンジ: 0~100 出荷時: 50	機能選択
		02	センサ感度に対するヒステリシス設定 調整レンジ: 0~100 出荷時: 5	機能選択
		03	アラーム判定値上限設定 調整レンジ: 0~100 出荷時: 80	機能選択
		04	アラーム判定値下限設定 調整レンジ: 0~100 出荷時: 20	機能選択
		05	アラーム判定値における監視時間設定 調整レンジ: 3~255 出荷時: 50(単位0.1秒)	機能選択
		06	ノーマリーオープン/ノーマリークローズ 0:ノーマリーオープン 出荷時: 0 1:ノーマリークローズ	機能選択
		07	動作モード設定 出荷時: 0 0(診断機能: OFF) 1(診断機能: ON) ※ASLINKSENSOR側表示連動	機能選択
		10	ディレイタイマON/OFF 出荷時: 0 0:ディレイタイマ無 2:OFFディレイタイマ 1:ONディレイタイマ 3:ON/OFFディレイタイマ	機能選択
		11	ディレイタイマ値 出荷時: 0 調整レンジ: 0~255 (単位10ms)	機能選択

ユニットに書き込まれているパラメータ番号と変数を読み出すモードです。

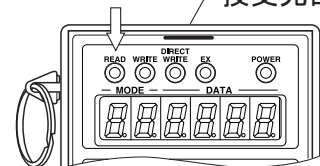
対象ユニットに電源(2線式タイプの場合は伝送信号)が供給されている事を確認してください。

■パラメータの読み出し操作

	操作方法	表示	表示内容	設定音
1	POWERボタンを長押し	040001	バージョン表示後	ピピ
		SELECT	SELECT点滅表示	
2	SELECTボタンを押す	000000	点滅表示	ピ
3	SELECTボタンを数回押し READ表示を点灯	READ(緑)		ピ
4	SETボタンを押す	000000	READモード確定	ピ
5	UP/DOWNボタンで、読み出したい パラメータ番号を選択	010000 例)	パラメータ1を選択する場合	
6	投受光部をユニットに合わせて SETボタンを押す	000000	読み込み中	ピ
7	読み出しに成功した場合	010050 例)	読み込んだパラメータ値の例	ピ-
8	引き続き、別のユニットのアドレスの 読み出し操作(5・6項)を行うことが できます			
9	読み出しに失敗した場合	000ERR	Err表示	ピピピ ピピ
10	投受光部を合わせ直し、再度 SETボタンによる読み出し操作(6項) を繰り返す			
11	・Err表示を消す ・他のモードに切り換える CLEARボタンを押す	010050 例)	READモード表示に戻る	
12	次の設定に移行する場合 SELECTボタンを押して 希望モードの表示を点灯	READ(緑) WRITE(黄) DIRECT WRITE(橙) EX(赤)		ピ

ARW-04使用後は、POWERボタンを長押し、電源をOFFしてください。

READが点灯していること 投受光部(黄色部分)



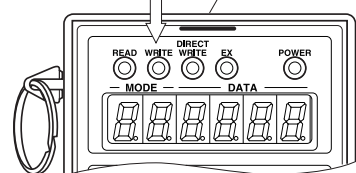
書き込み値が、電源再投入によって有効となるモードです。

操作時は、対象ユニットに電源(2線式タイプの場合は伝送信号)が供給されている事を確認してください。また全て書き込んだ後は、安全を確認の上、対象ユニットの電源(2線式タイプの場合は伝送信号)をリセットし、書き込み値を更新してください。

■パラメータの書き込み操作

	操作方法	表示	表示内容	設定音
1	POWERボタンを長押し	048801	バージョン表示後	ピピ
		SELECT	SELECT点滅表示	
2	SELECTボタンを押す	888888	点滅表示	ピ
3	SELECTボタンを数回押し WRITE表示を点灯	WRITE(黄)		ピ
4	SETボタンを押す	888888	WRITEモード確定	ピ
5	UPボタンを押し、書き込みたい パラメータ番号を選択する	018888 例)	パラメータ1を選択する場合	ピ
6	SETボタンを押す	018888 例)	ドット点滅右に移動	ピ
7	UP/DOWNボタンで書き込みたい パラメータ変数を選択する	018888 例)	パラメータ1を変数“1” に選択する場合	ピ
8	対象ユニットの設定ポートに投受光部 を合わせてSETボタンを押す	018888	書き込み中	
9	書き込みに成功した場合	888888	Good点滅後	ピ-
		018888 例)	書き込んだ値の例	
10	引き続き、別のユニットにアドレス番号の 書き込み操作(7・8項)を行うことができます (CLEARボタンで戻るとパラメータ番号の変更 (5・6項)可能)			
11	書き込みに失敗した場合	018888	Err表示	ピピピ ピピ
12	投受光面を合わせ直し、再度SETボタン による書き込み操作(8項)を繰り返す			
13	・Err表示を消す ・他のモードに切り換える CLEARボタンを押す	018888 例)	DIRECT WRITEモード 表示に戻る	ピ
14	CLEARボタンを押す	018888	ドット点滅左に移動	ピ
15	次の設定に移行する場合 SELECTボタンを押して 希望モードの表示を点灯	READ(緑) WRITE(黄) DIRECT WRITE(橙) EX(赤)		

WRITEが点灯していること 投受光部(黄色部分)



ARW-04使用後は、POWERボタンを
長押しし、電源をOFFしてください。

書き込みと同時に、書き込み値が有効となるモードです。

操作時は、対象ユニットに電源(2線式タイプの場合は伝送信号)が供給されている事を確認してください。DIRECT WRITEモードは、書き込んだ時点で更新されます。

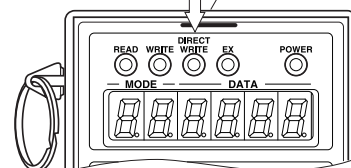
動作が変化し思わぬ動きなどが発生する可能性がありますので、安全に注意して操作してください。

■パラメータの直接書き込み操作

	操作方法	表示	表示内容	設定音
1	POWERボタンを長押し	040000	バージョン表示後	ピピ
		SELECE	SELECE点滅表示	
2	SELECTボタンを押す	000000	点滅表示	ピ
3	SELECTボタンを数回押し DIRECT WRITE表示を点灯	DIRECT WRITE(橙)		ピ
4	SETボタンを押す	000000	DIRECT WRITEモード確定	ピ
5	UPボタンを押し、書き込みたい パラメータ番号を選択する	000000 (例)	パラメータ1 を選択する 場合	
6	SETボタンを押す	000000 (例)	ドット点滅右に移動	ピ
7	UP/DOWNボタンで書き込みたい パラメータ変数を選択する	000000 (例)	パラメータ1 を変数“1” に選択する場合	ピ
8	対象ユニットの設定ポートに投受光部 を合わせてSETボタンを押す	000000	書き込み中	
9	書き込みに成功した場合	000000	Good点滅後	ピ-
		000000 (例)	書き込んだ値の例	
10	引き続き、別のユニットにアドレス番号の 書き込み操作(7・8項)を行うことができます (CLEARボタンで戻るとパラメータ番号の変更 (5・6項)可能)			
11	書き込みに失敗した場合	000ERR	Err表示	ピピピ ピピ
12	投受光部を合わせ直し、再度SETボタン による書き込み操作(8項)を繰り返す			
13	・Err表示を消す ・他のモードに切り換える CLEARボタンを押す	000000 (例)	DIRECT WRITEモード 表示に戻る	ピ
14	CLEARボタンを押す	000000	ドット点滅左に移動	ピ
15	次の設定に移行する場合 SELECTボタンを押して 希望モードの表示を点灯	READ(緑) WRITE(黄) DIRECT WRITE(橙) EX(赤)		

DIRECT WRITEが点灯していること 投受光部(黄色部分)

ARW-04使用後は、POWERボタンを長押しし、電源をOFFしてください。

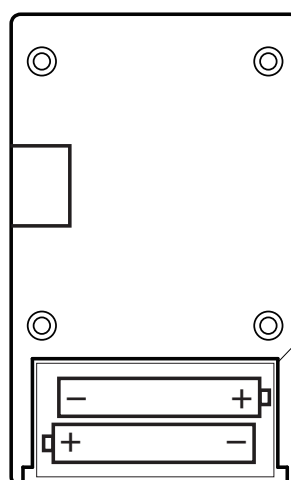
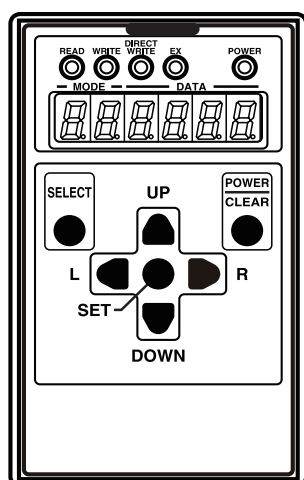


【電池交換】

POWER表示灯が点滅した場合は、電池の寿命ですので交換してください。

■電池交換

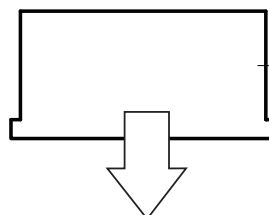
	状 態	表 示	意 味
1	POWERボタンON	POWER表示灯点滅 [CHANGE]	電池の寿命
2	POWERボタンOFF		電池の交換



電池ケース

単4型乾電池 2本

電池ケースカバー



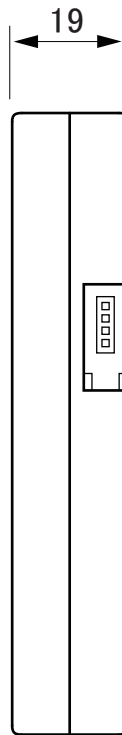
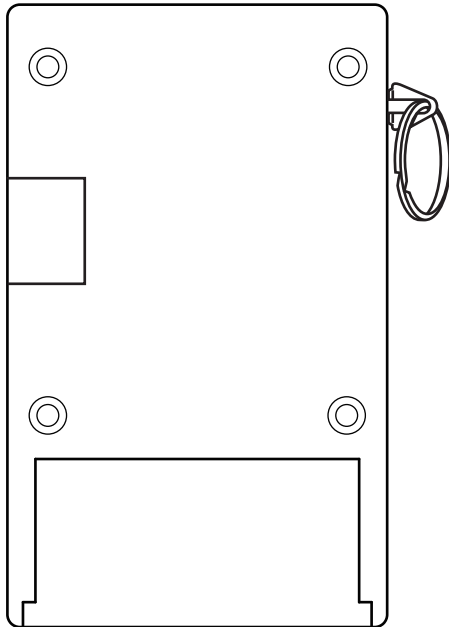
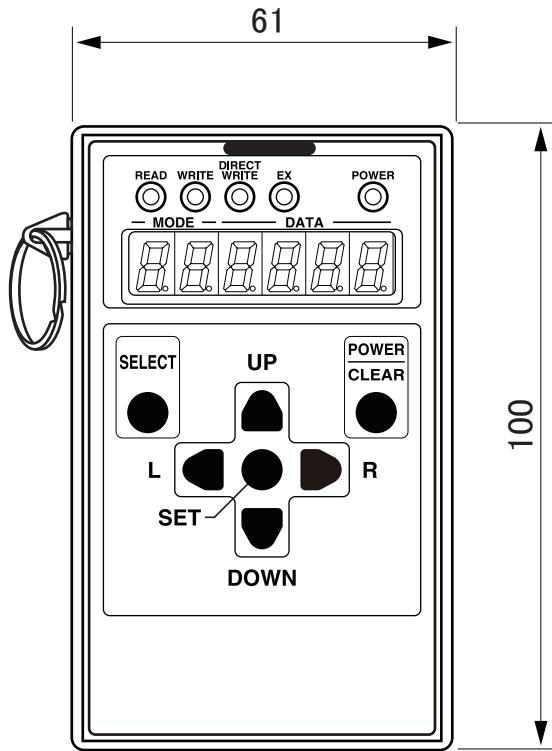
矢印方向に引いてください



注意

電池は+、-の方向を正しく入れてください。
故障や破裂などの原因となります。
使用済み電池は、各自治体等の規定に従い、
適切に処理してください。

※乾電池は別梱包にて添付されています。
付属の電池は動作確認用のモニター電池ですので
市販の電池よりも早く寿命が来ることがあります。
その場合は、別途「単4型乾電池」2本をご購入ください。



【中国版RoHS指令】

电子信息产品上所示标记是依据SJ/T11364-2006规定,按照电子信息产品污染控制标识要求制定。

本产品的环保使用期限为10年。如果遵守产品说明书中的操作条件使用电子信息产品,不会发生因产品中的有害物质泄漏或突发异变而引发严重的环境污染,人身事故,或损坏财产等情况。

的产品中有害物质的名称及含量

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 [Cr(VI)]	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
安装基板	×	○	○	○	○	○
框架	○	○	○	○	○	○


本表格依据SJ/T11364的规定编制。

○:表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。

×:表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572规定的限量要求。



【連絡先】

 株式会社エニワイヤ

本社 社:〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所1 TEL:075-956-1611(代) / FAX:075-956-1613
西日本営業所:〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所1 TEL:075-956-4911 / FAX:075-956-1613
東日本営業所:〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町47(新広栄ビル6F) TEL:03-5209-5711 / FAX:03-5209-5713
中部営業所:〒461-0048 愛知県名古屋市東区矢田南5-1-14 TEL:052-723-4611 / FAX:052-723-4683
九州営業所:〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-15-2(第6明星ビル7F) TEL:092-724-3711 / FAX:092-724-3713
テクニカル サポートダイヤル: TEL 075-952-8077

Printed in Japan 2015,2016,2017 UMA-11308G